

◆teku-teku2016★本郷求道会館コンサート企画（活動記録＋評価結果）◆

企 画■歴史的建物でのコンサートに参加する～本郷求道会館でモーツァルトを聴く～

日 時■2016年11月3日（木・祝）14:00～17:00

コース■本郷求道会館＜集合＞：コンソルティウム・アザータ第25回定期演奏会（管楽アンサンブルによる
オール・モーツァルト・プログラム）～本郷界隈散策（求道学舎・鳳明館、東大正門等）＜解散＞

参加者■◎大竹 亮、草原恵美子、津守久子、野中るみ子、宮崎佐知子

（以上5名、敬称略、◎コーディネーター）

企画主旨■本郷の求道会館は、仏教界の刷新を志した近角常観の依頼により、新進気鋭の建築家・武田五一が設計し、1915年に竣工した和洋折衷（融合）様式による意欲的な仏教教会堂です。隣接する欧州形式の寄宿舎・求道学舎と合せて優れた建築景観を創り出しています。長く閉鎖されていましたが、1994年に東京都有形文化財に指定され、6年間の修復工事を経て2006年に再生されました。今回、この貴重な建物の中で管楽アンサンブルのコンサートが開かれます。室内楽の響きは、きっと歴史的建物とマッチすることでしょう。価値ある建物の保存活用方法の一環として、このような活動を体験し、その意義と効果を考えてみましょう。

（本郷求道会館）<http://www.kyudo-kaikan.org/top.html>

（コンソルティウム・アザータ）<http://blog.livedoor.jp/azata/>

＜参加者の意見・評価＞

（注）評価は、A:非常に良い B:良い C:普通 D:良くない の4段階でお願いします。

コメントは、評価の理由、感じたこと、考えたことなどを簡潔に記入ください。

1◆本郷界隈の街（歩いた範囲）について

評価:4.20 内訳:AAABB

評価A●久しぶりに東大前の駅から求道会館まで歩きましたが、昔の街並みが残っていて、また東大の建物もあり、懐かしく感じる街でした。

評価A●本郷通りの並木道と東大キャンパス、商店街や昔ながらの風情がマッチして、文化性が感じられる。

評価A●東京大学の緑と本郷通りのイチョウ並木がとても絵になる街。

評価B●イチョウ並木のある大通りと一歩脇道に入れば、歩くのにちょうど良い道幅の道路とレトロな商店などが点在していて、その対比が楽しい。全体的に学生街の若い活気が感じられて元気づけられる。

評価B●古い街並みがステキでした。

2◆求道会館の建物について

評価:5.00 内訳:AAAAA

評価A●仏教の建物を教会様式で創り込んだことが興味深かったです。スケール感も快く、隣接した求道学舎集合住宅も含めて、貴重な建物だと思います。

評価A●一見風変わりだが、意欲的な名建築と思う。求道学舎ともども、再生活用されているのがすばらしい。

評価A●中が仏教だとは想像できない和洋折衷の建物。床暖房がきいて心地よく、2階の座席は座布団が用意され、小さなお子さん達は音楽を聴きながらお昼寝していました。心地よい建物の空間を実感できました。

評価A●寺院なのに教会のような和洋折衷の空間が楽しい。12年前に建設当初の姿に再建されたようですが、良くぞ手をかけてくださった、と言いたい。2階がゆるやかな階段状になっていて、今回のようなイベント時に小さなお子さんも参加しやすい。

評価A●教会のようで、2階への日差しが気持ちよかったです。



西洋建築風の特異な外観が印象的な求道会館



本郷の歴史を伝える老舗木造旅館・鳳明館

3◆コンソルティウム・アザータの演奏会について

評価:4.50 内訳:AAAB—

評価A●演奏者の楽譜が読めるくらいの近さで、管楽器の音色を楽しむことができた。日頃クラシックを聴かない身にも、モーツアルトの曲は優しく響く。構成もバセットホルンという珍しい楽器が引き立つような選曲で、3人、6人、13人と演奏者が増えていく趣向は聴きごたえがあった。

評価A●少人数のアンサンブルが小さな会場に合っていた。お話もあり、親密な雰囲気コンサートの演奏は本格的で、特に最後のグランパルティータ(KV.361)は、長大な曲ながら楽想が多彩に表現されて全く退屈せずに聴きほれてしまった。楽器の響きもすばらしく、生演奏の迫力を再認識した。

評価A●アマチュアとはいえ、入場料500円は安すぎる。建物の見学代も+して、もっととってもよいくらい上手でした。

評価B●聴きごたえがあり、個性もあって楽しかったです。

評価—●初めてクラリネット、オーボエ等の管楽器によるコンサートを観ました。わかりやすく、なじみの深い曲であったことも含めて、楽しむことができました。

4■歴史的に価値ある建物をコンサートや展覧会等のイベントに活用することについて

●建物本来の用途で使いつつ保存するのが理想だが、建物の価値を活かすには芸術分野での活用も有効。

●建物に負担をかけないイベントで、建物とイベントの雰囲気が合うものであればよいと思う。

●建物を鑑賞するだけでなく、その空間が生かされるような使われ方がされているのは、素晴らしい。

●可能であるならば、様々な建物でぜひ実現してほしいと思います。建築とその作品の融合が新たな美（芸術性）を生み出すような気がします。

●これからも何かあれば友人と行きたいです。



新しい理念の下で創られた求道会館の内部



当日のコンサートは2階席までほぼ満員

5■求道会館以外で、価値ある建物を上手く活用していると思われる事例

北海道のアルテピアッツァ美瑛★炭坑地帯の廃校になった小学校の校舎等をアート展示スペースに見事に転用。

水戸城址の茨城県議会議事堂★県庁移転後に残された建物をそのまま県立図書館に転用（議場が学習室に！）。

喜多方の造り酒屋の蔵★地域に開放していて、中学生の合唱練習が行われていました。

東京小石川の大正住宅★築100年の木造2階建（置石基礎・在来軸組工法）を改築再生させた個人宅。月1回程度のイベントあり。

東京染井の門と蔵のある広場★密集市街地の防災公園整備にあたり、旧宅の門と蔵を残して地域開放している。

東京池袋の自由学園・明日館★住宅地になじんだ低層の洋館校舎がイベントスペースに生まれ変わっている。

東京河田町の旧小笠原伯爵邸★本格的な洋風邸宅をギャラリー・カフェレストラン・イベントスペースに活用。

松江京町の日銀カラコロ工房★掘割に面する壮麗な銀行建築を空間の味わいを活かして店舗・カフェ等に改装。

福岡天神の上久醤油・松楠居★都心に残る老舗商家の別宅を地震被災後再生し、ギャラリー・ホールに活用。

6■その他、今回の企画に対する感想など（自由記入）

●気軽に参加できる企画で、また催してくれることを期待します。

●また、機会がありましたら一緒させてください。

●まさに、文化の日でした。

コーディネイターより●突然思いついた企画ですが、秋晴れの下、参加いただき、ありがとうございます。建物見学・イベント+ちょっとまち歩き、というのもいいですね。これからもお声掛けしますので皆さんどうぞ！